

HIV感染症・エイズは
「誰でもかかる可能性がある」病気です。
「自分は大丈夫」と思わず
しっかりと予防をしましょう。
自分自身やパートナーの健康を守り、
人生を自由に歩むために
より安全な行動を心掛けませんか？



発行：横浜市医療局
健康安全課
TEL 045-671-2729
FAX 045-664-7296



横浜市 HP
「HIV・エイズについて」

令和5年4月

☎相談窓口☎

※電話相談は年末年始や祝日を除く場合があります。

●AIDSネットワーク横浜

TEL 045-201-8808

水曜 17:00~20:00

土曜 14:00~17:00

●横浜いのちの電話 エイズ悩み電話相談

TEL 045-335-4343

年中無休 24時間

●エイズ予防財団

TEL 0120-177-812

(携帯から) 03-5259-1815

月曜~金曜 10:00~13:00、

14:00~17:00

『エイズ予防情報ネット』

<http://api-net.jfap.or.jp/>

●『HIV検査・相談マップ』

<http://www.hivkensa.com/>

HIV検査を 受けられた あなたへ

HIV感染症は正しい予防法により感染を防ぐことができます。また、早く発見し早く治療を始めることで、感染していない人と同じように、健康的に生活することができます。
この検査をきっかけにHIVとその予防について知り、これからも自分の健康を自分で守っていきましょう。

HIVに感染すると どうなるの？

初めの時期に風邪のような症状がでることもあります。HIVに特徴的な症状はありません。治療をしなくても症状は自然に治まり、その後症状がない時期が数年～10数年続きます。

その間にも徐々に免疫力が低下し、本来なら自分の免疫で抑えることのできる病気を発症するようになります。厚生労働省が定めた23の指標疾患を発症した時点で「エイズ（後天性免疫不全症候群）発症」と診断されます。

検査をするのは いつがいい？

感染してすぐは血液検査では陰性となり、感染しているかどうか、分からない時期があります。正確な結果を得るためには感染の可能性のある機会から3か月以上経ってから、再度検査を受けてください。

HIVってどうやって 感染するの？

HIVは唾液や涙、尿にはほぼ含まれていないため、日常生活で感染することはありません。

主な感染経路は

- 性行為による感染
- 血液を介しての感染
- 母子感染

ですが、その中でも一番多いのは「性行為による感染」です。感染している人の精液、膣分泌液、血液に多く含まれ、粘膜や傷口を通して体内に侵入し、感染を引き起こします。

感染しないためには どうすればいい？

感染経路として一番多い「性行為による感染」を防ぐためにはSafer Sex（より安全なセックス）を実践することが重要です。

○Safer Sexのために…

- ・コンドームを正しく使う
- ・コンドームを初めから終わりまでつけるように心掛けましょう。



～レッドリボン～
差別の解消に向けて

HIV・エイズと共に
生きる人々に対して
偏見をもたず、
差別せず、理解し、
支援するための
意思表示としての
シンボルマーク

